

選択した講義の内容です

2017年度

操作ボタン

講義科目名称 : 社会科教育法Ⅲ(地理)

授業コード : S1250

英文科目名称 : Methods & Materials in Social Studies III

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
春	3	2	選択
担当教員			
草原 和博			
使用言語 : 日本語			

授業の目的	<p>本授業では、教科目標と子どもの実態を踏まえて、中等社会科・地理歴史分野を指導できる基礎的な知識と能力を養う。本授業は、「ケース・スタディー」に徹する。ケース・スタディーを通して、以下3点をを総合的に育成する。</p> <p>(1) 「地理歴史科」の存在理由を、市民性育成の視点から説明できる。</p> <p>(2) 他者の実践した「良い地理歴史科授業」を観察し、授業を成り立たせている原則を分析できる。</p> <p>(3) 自分が設定した到達目標にもとづいて教材研究を行い、「良い地理歴史科授業」を開発できる。</p>
授業計画	<p>第1講 【パート1】地理歴史科のあり方の省察（1）</p> <p>○オリエンテーション</p> <p>★到達目標：（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会科教育法Ⅲ」のねらい、授業計画を確認する ・優れた地理歴史科授業、意義ある地理歴史科授業とはどういうものか、省察する ・事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分） <p>第2講 【パート1】地理歴史科のあり方の省察（2）</p> <p>○地理歴史科の教科目標と教科内容</p> <p>★到達目標：（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんのために、何を教えるか－目標と主題、教育内容と教材の関係を説明する ・日本史「大正デモクラシー」の授業を比較分析する ・事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分） <p>第3講 【パート1】地理歴史科のあり方の省察（3）</p> <p>○地理歴史科の教科目標と教科内容</p> <p>★到達目標：（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんのために、何を教えるか－教師の問題意識と指導案のフォーマットの関係を説明する ・地理「工業の立地」の知識の構造を分析する ・事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分） <p>第4講 【パート2】地理歴史科の授業分析（1）</p> <p>○事実・要素教授型の授業構成（1）</p> <p>★到達目標：（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野「ヨーロッパの農業」を視聴する ・事実の構成と経過を教授する授業構成の原理を説明する ・事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分） <p>第5講 【パート2】地理歴史科の授業分析（2）</p> <p>○事実・要素教授型の授業構成（2）</p> <p>★到達目標：（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野「ヨーロッパの農業」を分析する ・事実教授の原來的な困難性を説明する ・事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分） <p>第6講 【パート2】地理歴史科の授業分析（3）</p> <p>○解釈教授型の授業構成（1）</p> <p>★到達目標：（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野「沖縄県の産業」+「農業大国フランス」を視聴する ・事実の意味連関を教授する授業構成の原理を説明する ・事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分） <p>第7講 【パート2】地理歴史科の授業分析（4）</p> <p>○解釈教授型の授業構成（2）</p> <p>★到達目標：（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野「沖縄県の産業」+「農業大国フランス」を分析する ・事理的思考力を養う学習過程を説明する ・事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分） <p>第8講 【パート2】地理歴史科の授業分析（5）</p> <p>○理論教授型の授業構成（1）</p> <p>★到達目標：（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民的分野「政治とは何か」+「憲法とは何か」を視聴する ・一般概念（本質）を教授する授業構成の原理を説明する ・事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分）

第9講	<p>【パート2】地理歴史科の授業分析（6）</p> <p>○理論教授型の授業構成（2）</p> <p>★到達目標：（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民的分野「政治とは何か」＋「憲法とは何か」を分析する ・ 理論的思考力を養う学習過程を説明する ・ 事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・ 事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分）
第10講	<p>【パート2】地理歴史科の授業分析（7）</p> <p>○解釈教授型の授業構成（3）</p> <p>★到達目標：（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的分野「唐の人々の暮らし」＋「元禄期の農村」を視聴する ・ 事実の因果連関を教授する授業構成の原理を説明する ・ 事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・ 事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分）
第11講	<p>【パート2】地理歴史科の授業分析（8）</p> <p>○解釈教授型の授業構成（4）</p> <p>★到達目標：（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的分野「唐の人々の暮らし」＋「元禄期の農村」を分析する ・ 事実に基づく思考力を養う学習過程を説明する ・ 事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・ 事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分）
第12講	<p>【パート2】地理歴史科の授業分析（9）</p> <p>○理論教授型の授業構成（3）</p> <p>★到達目標：（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域学習「酸性雨の背景」＋「工場跡地のゆくえ」を視聴する ・ 一般原理（規則性）を教授する授業構成の原理を説明する ・ 事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・ 事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分）
第13講	<p>【パート2】地理歴史科の授業分析（10）</p> <p>○理論教授型の授業構成（4）</p> <p>★到達目標：（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域学習「酸性雨の背景」＋「工場跡地のゆくえ」を分析する ・ 理論的思考力を養う学習過程を説明する ・ 事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・ 事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分）
第14講	<p>【パート3】地理歴史科の授業開発（1）</p> <p>○解釈教授型の授業をつくってみる</p> <p>★到達目標：（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本史「古代とは何か」「近代とは何か」の教材研究を試行する ・ 事実の意味連関&因果連関を問ひ、事実に基づく思考力を養う学習過程を組織する ・ 事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・ 事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分）
第15講	<p>【パート3】地理歴史科の授業開発（2）</p> <p>○理論教授型の授業をつくってみる</p> <p>★到達目標：（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界地理「国家の統治体制」「国家による富の再分配」の教材研究を試行する ・ 一般概念&一般原理（規則性）を問ひ、理論的思考力を養う学習過程を組織する ・ 事前学修： 授業に関する予習課題に取り組む。指定文献を読む（90分） ・ 事後学修： 授業に関する復習課題に取り組む。参考文献を読む（90分）

授業成果	地理・歴史の内容に関わる1時間単位の学習指導計画を作成できる。
テキスト	授業の初回でコースバケットを配布する
参考書	(1) 社会認識教育学会編『中学校社会科教育』『地理歴史科教育』学術図書 (2) 原田智仁編『社会科教育へのアプローチ－社会科教育法－』現代教育社 (3) 原田智仁編『社会科教育のルネサンス－実践知を求めて－』保育出版社
成績評価の方法	(1) 個人課題とグループワーク……50%（発表内容の合理性と実証性を中心に評価する） (2) 最終試験……50%（回答内容の論理性と具体性を中心に評価する） を原則として、到達状況を総合的に判断して評価する。 なお、授業の性格上、理由なき欠席は認めない。原則として授業を3分の1以上欠席した場合は、単位は認めない。
その他	(1) 個人課題の回答はメールでの提出を求め、優秀作品は直近の講義で紹介する。 (2) グループワークには積極的に主体的な参加を求める。成果は講義中にプレゼンしてもらおう。 (3) (1) (2)への取り組みを通して、教師としての基本的な資質を養いたい。
参考URL	(1) ホームページ： http://home.hiroshima-u.ac.jp/~kusahara/kusalab/ (2) 質問・照会： kusahara@hiroshima-u.ac.jp
ベンチマーク/到達目標	【到達目標】次の3つを習得することを目標とした授業です。 ①「地理歴史科」の存在理由を、市民性育成の視点から説明できる。 ②他者が実践した「良い地理歴史科授業」を観察し、授業を成り立たせている原則を分析できる。 ③自分が設定した到達目標にもとづいて教材研究を行い、「良い地理歴史科授業」を開発できる。
ルーブリック	この授業のlearning effort（LE1:合格最低レベル～LE4:最高レベル） 到達目標① LE1:地理歴史科の存在理由を、民主主義社会の形成者の視点から教育史を踏まえて説明できる LE2:地理歴史科の存在理由を、民主主義社会の形成者の視点から説明できる LE3:地理歴史科の存在理由を、自分の教育観や信念の視点から説明できる LE4:地理歴史科の存在理由を、合理的に説明できない 到達目標② LE1:他者の授業を観察し、同授業の目標・内容・方法を関連づけて説明するとともに、不整合な箇所を指摘できる LE2:他者の授業を観察し、同授業の目標・内容・方法を関連づけて説明できる LE3:他者の授業を観察し、同授業の目標・内容・方法を羅列的に記述できる LE4:他者の授業を観察し、同授業の特質を記述できない 到達目標③

	LE1:自分の目標に即して教材研究を行い, 目標準拠でかつ探究的な地理歴史科の学習指導案を作成できる LE2:自分の目標に即して教材研究を行い, 目標準拠の地理歴史科の学習指導案を作成できる LE3:自分の目標に即して教材研究を行い, 地理歴史科の学習指導案を作成できる LE4:自分の目標に即した教材研究を行うことができない
授業形態	②演習 A : グループワーク有り B : 発表(プレゼンテーション)有り

[◀ シラバス検索TOPへ戻る](#) [◀ 検索結果一覧へ戻る](#) [↑ ページ先頭へ戻る](#)